

施策名	目標8-3 環境パートナーシップの形成						
施策の概要	NPO、企業、行政等といった各主体間のパートナーシップの形成促進を図るため、東京・青山に「地球環境パートナーシッププラザ」を、全国7カ所に地方環境パートナーシップオフィスを、それぞれ設置。政策課題についての意見交換会・勉強会の実施、事業型環境NPO・社会的企業の支援などを通じたNPO、企業、行政等の協働での取組支援、環境・パートナーシップに関する情報の分析・発信などを行っている。						
達成すべき目標	各主体が、環境保全に関してそれぞれの立場に応じた公平な役割分担の下、相互に連携した自主的・積極的取組が行えるよう、各主体間のネットワークを構築し、環境保全のための情報の集積・交換・提供等を行い、環境パートナーシップの形成を促進する。						
施策の予算額・執行額等	区分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	-	-	254	229	209
		補正予算(b)	-	-	0	0	
		繰り越し等(c)	-	-	0	0	
		合計(a+b+c)	-	-	254	229	209
執行額(百万円)		-	-	233			
施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称			年月日		関係部分(抜粋)	
	・21世紀環境立国戦略			・平成19年6月1日		・「戦略7 環境を感じ、考え、行動する人づくり」の協働による地域環境力の強化に基づき施策を展開。	

測定指標	地球環境パートナーシップ 1 プラザのホームページアクセス件数(万件)	基準値	年度ごとの目標値					目標値
		年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	年度
		-	535	772	819	801	575	増加傾向を維持
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-
	環境らしんばん登録団体数 2	基準値	年度ごとの目標値					目標値
		13年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	年度
		504	777	816	855	885	901	増加傾向を維持
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-
	地球環境パートナーシップ 3 プラザのメールマガジン配信人数	基準値	年度ごとの目標値					目標値
		13年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	年度
		1,467	3,280	3,731	3,795	3,845	3,169	増加傾向を維持
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-

施策に関する評価結果	目標の達成状況	各主体間のネットワーク構築を促進し、情報の集積・交換・提供等を行ってきた。環境らしんばんへの登録団体数は着実に増加傾向にあり、セミナー等の開催も充実しつつある。HPアクセス件数、メールマガジンの配信人数は、URLドメインを変更したこと等により一時的に減少した。
	目標期間終了時点の総括	環境パートナーシップづくりの活動として、生物多様性条約第10回締約国会議(CBD/COP10)が日本で開催されること等を背景に時機に見合った課題に関するシンポジウム等の開催、多目的スペースやインターネットを利用した情報整備、発信を重点事業として活動を行い、市民の地球環境問題、特に生物多様性への関心の向上、及び関係者のパートナーシップの促進を図った。 この結果、国際機関、政府、NGO、市民、議員、学生、各地の地方EPOや草の根の団体など多様な取組をつなぎ、国連生物多様性の10年(2011～2020)に向けて、新たなパートナーシップを生み出す素地をつくることができた。 2011年度以降も、国際的な展開も視野に入れつつ、国内での関心が継続するように様々な主体との連携を強化することが課題となっている。

学識経験を有する者の知見の活用	地球環境パートナーシッププラザや地方環境パートナーシップオフィスにおいては、学識経験者を含む運営委員会等を設置し、その運営に関し助言等を得ている。
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	
---------------------------	--

担当部局名	民間活動支援室	作成責任者名	河本 晃利	政策評価実施時期	平成23年 6月
-------	---------	--------	-------	----------	-------------